

2011年 5月 10日

## 富士スピードウェイ 練習報告書

### 1本目 (曇り・ドライコンディション)

1分52秒1

今日はエンジンの調子を見るのが最も重要な走行。リアの新パーツの調子も見て良ければ、なるべく距離を走る予定だった。

走行が始まって数周した後、リアが以前より軟らかい感じがした。それを伝えるためにピットイン。しかしタイヤも中古の古いタイヤだったためセットは変えずに再スタート。最終ラップに今日の自己ベストを更新したが、1分51秒台に行けずにチェッカーフラッグを受けることになった。



### 2本目 (曇りから雨)

1分52秒3

開幕戦での速度差を受けて、ダウンフォースの調整をシタイムアタック。しかしストレート速度はそこまで上がる事はなかった。コーナリングで乗りにくくなることはなかったが、タイムは伸びず1分52秒3。なんとかしてタイムを上げようとして攻めると、あいにくの雨。ドライタイヤでの走行は難しくなりピットイン。レインタイヤに交換する時間はなく、そのまま終了となった。



### 3本目 (雨・レインコンディション)

2分06秒7

開幕戦の予選で1位を取って以来の2度目のレインでの走行。雨量は比較的多く降っている状態で、コース上3箇所ほど川になっていた。川になっている位置を確認し、タイムアタック開始。序盤から毎周ラインを変更し、いろいろなパターンで走行した。その結果、1周1周着実に2秒ずつタイムを上げていった。調子は良く、さらにブレーキを詰めてタイムアップを図った。しかしダンロップコーナーでミスをし、0.4秒3本目のベストタイムから遅れをとった。その次の周回でミスしたところを修正し、好タイムを狙った。しかし1コーナーでマシントラブル。5速ホールドの状態になってしまった。すぐにピットに戻るが修復不可。たった7周で走行終了となった。それでもレインでは1.7秒差をつけトップタイムを記録した。

今回の反省と次回に向けて

- ・ドライでもレインでもタイヤが良くない中、前回よりも良い走りが出来た。
- ・速い走り方を見つけても毎周同じように走れなかったなので走れるようにする。
- ・縦方向のグリップの自分の感知力を上げる。

